

令和4年度 GIGA スクールのまち垂水 第1回教育講演会 講師 渡邊先生

令和4年 6月19日 10:00～ 垂水市市民文化会館 講話の記録 Notta アプリ



1 プログラミングの紹介(現在求められる学力とは?)

スクラッチを見せながら、正三角形の書き方を説明されました。それは、今年度の全国学力学習状況調査の出題から、プログラミングに関する問題が出ているということを説明されました。まさに今、タブレットの活用は、求められているもの(学力)ということを強調されました。

2 Society5.0の社会について(30年後の社会について考える)

ウェザーニュースの利用 自動運転バスの利用とか、本当にIoT、AI ロボット、ビッグデータの活用というところで、私達は問題解決を図っているというところを説明されます。そして子供たちも同じく、ICT 活用ができないよりはできるにこしたことはないという考えを述べられました。

子供たちの将来は、どんな活動をどんな就職においても、ICT 活用は、絶対必須になるということを強調されました。

3 GIGA スクール構想について(垂水市の整備は、トップレベル)

垂水市においては、持ち帰りやネット環境・アプリの整備、そしてICT 支援員までついて、アドバイザーも整備していて、とてもハイレベルなものとなっている。鹿児島県全体では、整備においては、全国から遅れをかなり取っているが、垂水はトップレベルだということを話されました。

4 これからの社会の大きな変化に、学校も家庭もますます大きな変化を求められる?

子供たちに求められていくものがやはり変化している。社会から求められてるものが大きく変化していると言える。個別最適な学びと協働的な学びというものが求められている。新城小の取り組みや複式指導など、少人数だけれどもICTを活用することによってそのような求められるている学びが実現できる可能性が大きいことを話されました。これから社会の変化はますます大きく変化する。その中で子供たちを育てる学校も大きく変化することを指摘されています。そして今はその途上であること。まだまだその変化の途中であることを保護者の皆様には、理解していただきたいと話されていました。最後に、全国では自治体任せのGIGA スクール整備が現状で、進んでいませんが、垂水市はかなり力を入れて取り組んでいると述べられました。質疑応答の中で、ルールについて、次の様に答えられました。「子供たちが納得いく話し合いや指導が大切です。家庭でも話し合っていただきたい。」利用者は子供なので、大人になる過程で子供が自ら選択し、構築し利用していくので、自分自身のモラル感覚というものが必要であるということを最後に述べられました。